

第17回臨時委員会報告②

七月十八日に開催された第十七回臨時委員会では、再び闘いに立ち上り総反撃にうって出ることを満場一致で決定した。強制出向、悪質な不当労働行為にはストも辞さず闘うのみである。八月に実施するスト権投票の一〇〇%達成を勝ちとるために全支部で職場集会、個別オルグを展開しよう。強権的労務支配と対決する職場抵抗闘争を強化しよう。

これからの真価を問われる

臨時委員会は十時から開始され、まず、重見執行委員より「国鉄労働運動の中で動労千葉が重要な位置をしめている。本日の臨時委員会を大成功させよう」と開会のことが述べられた。

資格審査ならびに成立宣言の後議長に幕張支部の宇田川委員が選出され「動労千葉の闘いはこれからが本場に真価を問われる。出向は首切りだ。絶対阻止しよう」と力強く挨拶が行われ、続いて、臨時委員会スローガン（案）が提起された。

つぎに、中野委員長挨拶（前号参照）が行われ、「闘う方針を確立し、出向攻撃には全員火の玉となってストライキをうちぬく決意を打ち固めよう」と全参加者に再び闘いに立ちあがることを訴えた。

動労総連合は闘いの基礎だ

来賓の挨拶にうつり、まず、動労水戸の福田書記長は「四月一日に発足した東日本会社はとんでもない会社だ。法律や憲法をも無視している。生存権すら抹殺する当局に対して反撃に出る時がきた。動労千葉の闘い方しか問題を解決できない。頑張ろう」と反撃への檄をとばし、つぎに、動労連帯高崎の和田山委員長は「七月十五日に全員が集まり、①出向は実力で拒否する ②職場の中で



原則的運動を展開する ③組織拡大のため動労連帯高崎への決起を勝ちとる、を確認した。動労千葉の闘いを学びながら、全国モデルの高崎の中で闘いぬく」と決意を明らかにした。

さらに、動労千葉家族会の林会長は、「昼夜を問わぬ闘いに心より感謝します。ここでへこたれたら何んにもなりません。共に頑張りましょう。家族会の全支部結成を全力で取り組みましょう」と家族ぐるみで闘うことが明らかにされた。

来賓の最後に、船橋市議会議員の中江昌夫氏は「国家機密法制定に向けた極めて危機的状況だ。労働運動の右翼的再編と期を一にしている。動労総連合は闘いの基礎だ。今後とも闘う」と議室内で闘うことが明らかにされた。

全支部は全力で職場集会、オルグを

国労の仲間からの檄電、メッセージが披露された後、布施書記長より、出向、小集団攻撃粉砕を中心とする当面する取り組みとして、(1)強制出向悪質な不当労働行為にはストも辞さず闘う (2)スト権投票は八月に実施する (3)戦術は執行委員会決定する (4)強権的労務支配と対決し、不当労働行為に対する第三者機関の活用や大衆的街頭宣伝等を追求する、さらに、夏季手当5%カット攻撃に対する取り組みを具体的に開始することなどが提起された。

これを受けて質疑に入り、「出向は首切りだ。首切りには闘う以外にない」「スト権投票をストを闘う気迫で取り組む」「事業部運動の大成功は決定的に重要だ」「二名がネクタイピンで差別されたが不屈に闘っている」など多くの意見、質問が出され、再び闘いに立ちあがるための活発な討論が行われ、闘う方針を満場一致で決定した。

闘争宣言が採択された後、議長解任挨拶、山口副委員長の閉会のことば、杉本青年部長代行の音頭による組合歌唱、中野委員長長の団結ガンバリをもって第十七回臨時委員会は大成をおさめた。

つぎは総反撃だ。スト権投票の一〇〇%達成へむけ、全支部は全力で取り組もう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！

スト権投票の100%達成を！

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！